

福島町の橋梁長寿命化計画

1. 長寿命化計画の背景と目的

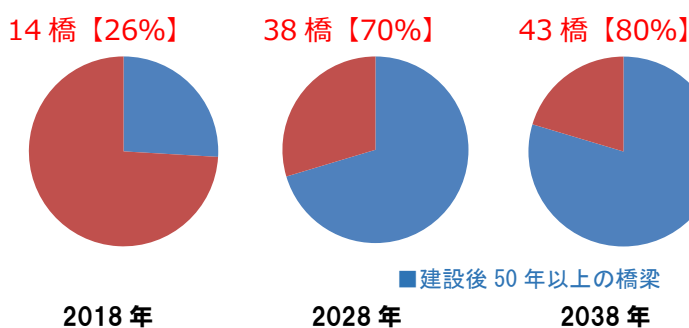
【背景】

- ・福島町が管理する道路橋は、現在54橋あり、このうち建設後50年を経過する高齢化橋梁は、14橋で全体の26%を占める。
- ・20年後には、この割合が80%を占め、急速に高齢化橋梁が増大する。
- ・今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。

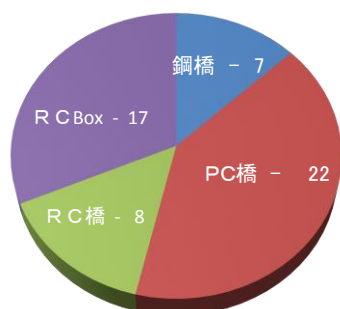
【目的】

- ・定期点検による橋梁の状態の把握、予防的な修繕および計画的な架替えを着実に進め、橋梁の長寿命化と橋梁の修繕・架替えに係る費用を縮減します。
- ・重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保していくために長寿命化修繕計画を策定します。

建設後50年以上の橋梁箇所数の増加



橋種別の橋梁数(H28年現在)



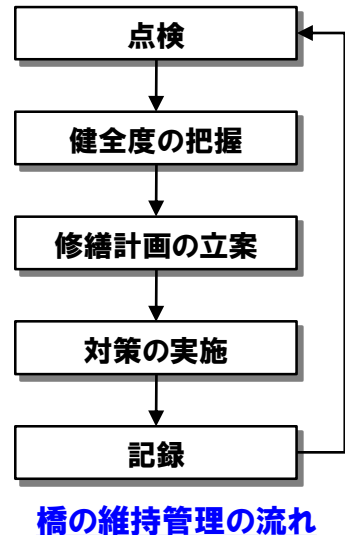
穂内橋(橋長18.6m)
昭和44年供用開始(48歳)

2. 対象橋梁

	1級町道	2級町道	その他町道	合計
全管理橋梁	10	10	34	54
うち計画の対象橋梁	10	10	34	54
うちこれまでの計画策定橋梁数	10	10	34	54
うちH29年度計画策定橋梁数	10	10	34	54

3. 長寿命化修繕計画の基本的な方針

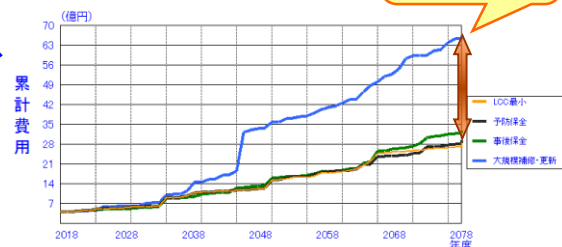
- ☆点検マニュアルに基づき、専門家による橋梁点検を実施し、橋の健全度を把握します。橋梁点検は、おおよそ5年ごとに行なっていく予定です。
- ☆それぞれの橋において、点検により把握した健全度に基づき最適な修繕計画(低コストかつ長寿命化を図れる計画)を立案します。
- ☆全対象橋梁において、長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づいて順次、修繕を実施します。
- ☆点検および修繕した結果は、橋梁台帳および点検調書等に記入し電子データとして保存します。



4. 長寿命化修繕計画の効果

- ☆今後60年の修繕・架替え事業費(予防保全型、大規模補修・更新型)を試算した結果、予防保全型の累計は、約30億円、大規模補修・更新型の累計は65億円なり、予防保全型の維持修繕を実施することにより約35億円のコスト削減効果が期待できます。

保全・更新費用の推移



60年間で
約35億円
コスト削減

5. 計画策定担当部署および意見を聴取した学識経験者

- 1) 計画策定担当部署
福島町 建設課 Tel:0139-47-3006
- 2) 意見を聴取した学識経験者
北海道大学 名誉教授 大沼 博志